

令和4年度 北はりま特別支援学校 学校関係者評価 「本校」用

本校「学校評価」について、教員の自己評価結果資料をご覧ください、適切な自己評価が行えているかどうかについて、下表に評価をお願いいたします。調査内容について、A～Dの該当する欄に○印をお付けください。評価の際に、保護者アンケート結果資料もご参考になさってください。また、ご意見・ご感想もよろしくお願い申し上げます。

年度努力事項	学校関係者評価				学校関係者委員としてのご意見・ご感想	評価
	適切な評価で	なま评価まずあ適る切	评や価で不適る切な	で不適る切な评価		
安全安心な学校	A	B	C	D	ヒヤリハット事例の情報共有と対処方法はスピーディーに行っていたきたい。 障害特性に応じたケガや、事故は、必ずヒヤリハットとして対処を望む。 対応訓練の様子を撮影し、全体で見直しすることは大切なことです。	4.4
自他の命と人権が尊重された学校	A	B	C	D	ハラスメント等は、行っている者自身は気づきにくく、周りが適切に指導すべきである。 普段からの職員同士の話し合いが、すべての基本になります。	4.6
自立と社会参加の実現を目指す学校	A	B	C	D	生活の基本である身だしなみ、あいさつ、返事、報告など、いつでも誰でもが意識しあうことが大切だと思います。	4.7
確かな成長が実感できる学校	A	B	C	D	新様式への移行については、とにかく始めて、後に修正を加えていこうにしましょう。	4.7
地域に開かれた信頼感のある学校	A	B	C	D	ICT導入は、これまでの上乗せで、負担増にならないようにしてください。	4.7

・コロナの影響下、工夫を凝らして、よく取り組んでいるように感じます。
 ・評価自体は概ね適切な評価になっているかと思われます。新年度は感染対策等が変わってくるようですので、対面的活動やICTの活用等の上手な工夫をしていただければと思います。
 ・まだまだ多くの制限がある中で、苦勞の多かった一年だと思いましたが、多くの成果を残し、子どもたちの成長がみられた学校の取り組みに感謝いたします。国としてのコロナの対応も間もなく大きく変わろうとしています。三年間、子どもたちは本来できたはずの学校行事等もできなかったり、内容、方法等を大幅に変更したりと、貴重な学びの機会の制限を強いられました。マスクをどうするか、行事の在り方もコロナ禍前の状況に全て戻すのか等、学校としての対応をどうするのかといった悩みも深いことと思いますが、子どもたちの日常を少しでも取り戻すべく、更にご努力いただければと思います。